

コンピュータ演習A Windowsの基礎とLatex

西谷滋人

資料提供：岡田 孝

本講義の授業内容

1. コンピュータの基本構成
2. インターネット
- 3-7. ワードプロとプレゼンテーション, 表計算ソフトの利用法
6. タイプ速度の試験
- 8-13. Latexによる文書作成

本講義の目的

- コンピュータの特性を理解し、多方面でパソコンを利用できることを目的とする。
- 前半は道具としてのパソコン利用に重点を置き、後半は数式の表示に優れたLatexの修得。
- 資料はA4でほぼ毎回提供するので、ファイリングするように。
- 成績は出席, レポートを総合的に評価する。

▷

西谷滋人 Who??

材料工学科卒業 –その後理論・計算

計算材料学

物理・視覚化

数式処理

物理現象をモデリングして, 材料開発, プロセス開発に応用. 数式処理ソフトMapleの普及活動.

▷

皆さんについてお聞きします

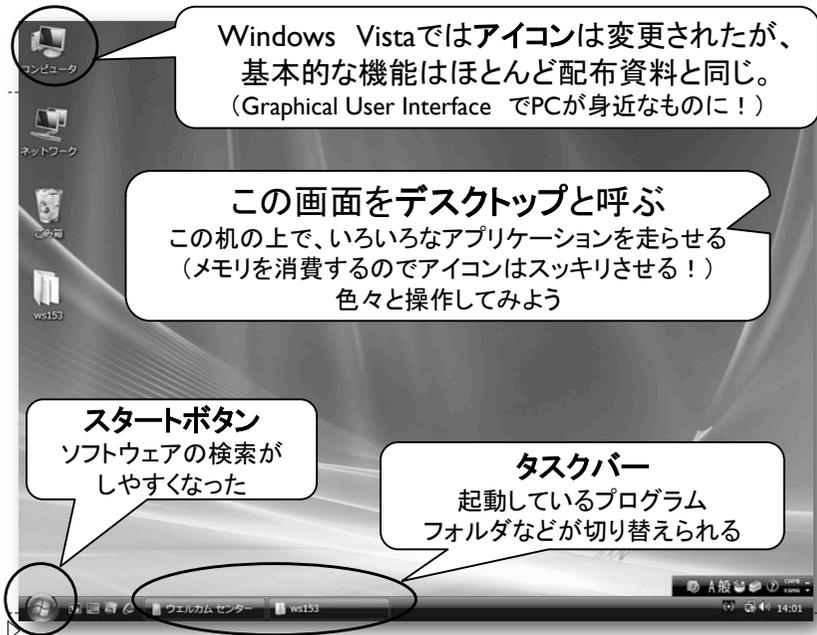
Question	問題なし	なんとか	難あり
Google. Yahoo, などの利用			
Internet mail などの利用			
Microsoft Word の利用			
Microsoft Excelの利用			
Microsoft Powerpoint の利用			
HTML の記述			
C言語でのプログラミング			
その他のコンピュータ言語			
将来SEなどになる可能性			



Windowの基本操作 -その1

Windows Vista

1. デスクトップ解説
2. マイドキュメントを表示→拡張子の表示
3. Terapad あるいは メモ帳 を起動 
4. この画面の内容(何でも良い)を入力編集
5. ウィンドウの操作
6. ファイルのZドライブへの保存 test.txt
7. 再度Terapadを起動, 保存したファイルをオープン
8. 編集後, 上書き保存

Windows Vistaではアイコンは変更されたが、基本的な機能はほとんど配布資料と同じ。(Graphical User Interface でPCが身近なものに！)

この画面をデスクトップと呼ぶ
この机の上で、いろいろなアプリケーションを走らせる(メモリを消費するのでアイコンはスッキリさせる!)
色々とお操作してみよう

スタートボタン
ソフトウェアの検索がしやすくなった

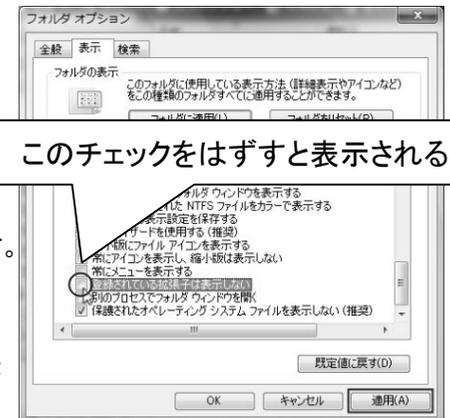
タスクバー
起動しているプログラムフォルダなどが切り替えられる

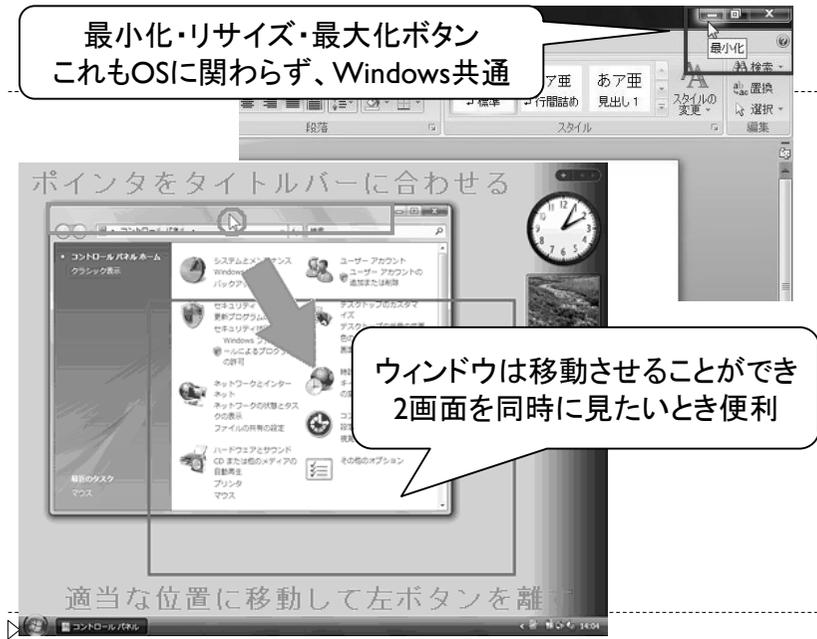
まず拡張子を表示させよう Windows explorer

拡張子：そのファイルの種類を示す3~4文字の文字列

- テキストファイル → .txt
 - ムービファイル → .mpg .
 - 画像ファイル → .jpg .gif
 - Wordファイル → .doc .docx
 - Excelファイル → .xls .xlsx
 - PPTファイル → .ppt .pptx
- その他いろいろあります。

表示させておくと、どの種類のファイルか一目瞭然になる。
.doc は見れるが、.docxは見られないというPCもあるので、注意が必要！





作業スタイルとWindows表示

- ▶ Windows explorer (マイコンピュータ) を常にディスプレイ上の同じ場所に立ち上げておく
 - ▶ explorer, web browser, mail が常に active
- ▶ Explorer の window は
 - ▶ 左側ペインをフォルダ構造を表示させておく
 - ▶ 右側は詳細表示にしておく. 名前順または更新日時順
 - ▶ こうすると常に現在の作業場所の状況を把握できるので安心できる
- ▶ 複数の window をそれぞれの作業に必要な大きさと立ち上げておく. Window の一部は見えるようにしておく. クリック (タスクバーまたは window) で切り替える.



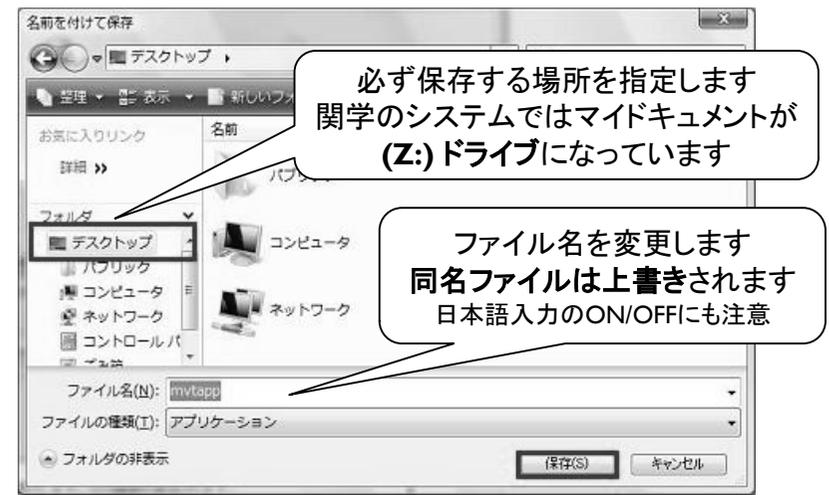
Windowの基本操作 -その1

Windows Vista

1. デスクトップ解説
2. マイドキュメントを表示→拡張子の表示
3. Terapad あるいは メモ帳 を起動
4. この画面の内容 (何でも良い) を入力編集
5. ウィンドウの操作
6. ファイルのZドライブへの保存 test.txt
7. 再度 Terapad を起動, 保存したファイルをオープン
8. 編集後, 上書き保存



Terapadでtest.txtを作成 保存時の注意点





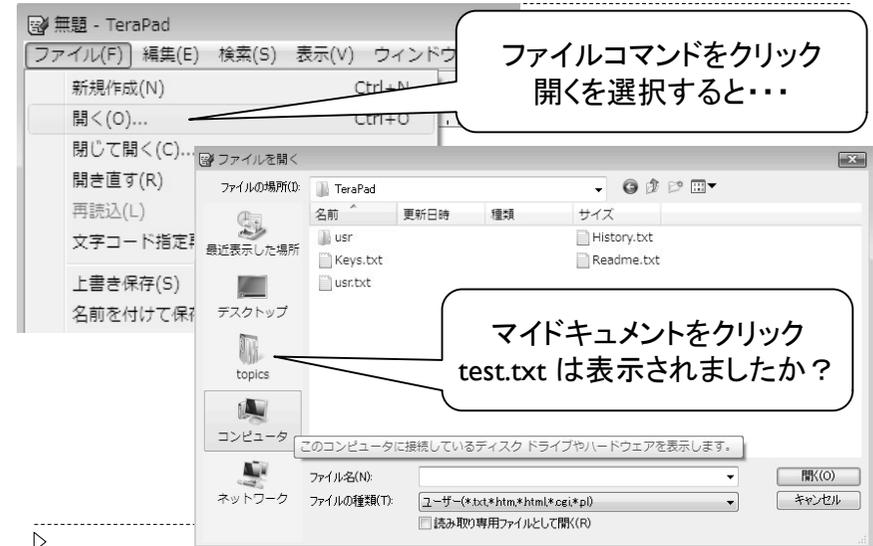
Windowの基本操作 -その1

Windows Vista

1. デスクトップ解説
2. マイドキュメントを表示→拡張子の表示
3. Terapad あるいは メモ帳 を起動
4. この画面の内容(何でも良い)を入力編集
5. ウィンドウの操作
6. ファイルのZドライブへの保存 test.txt
7. 再度Terapadを起動, 保存したファイルをオープン
8. 編集後, 上書き保存



アプリケーションから開く



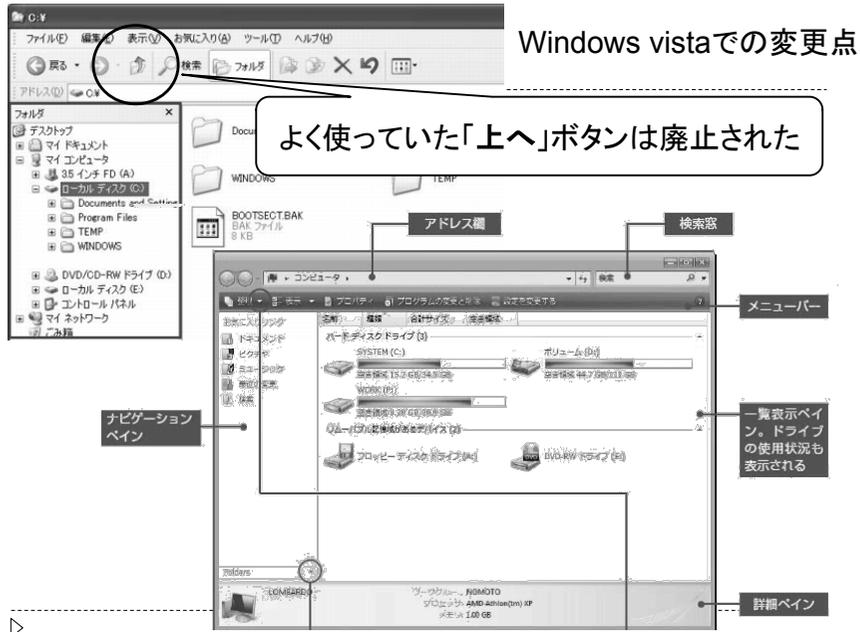
もう一つの開き方

- ▶ Windows explorerで開きたいファイルを、直接ダブルクリックする。やっておこう。
- ▶ オブジェクト指向の考え方
 - ▶ 対象物(オブジェクト:この場合はファイル)には適用可能な操作(メソッド)が複数存在する。
 - ▶ 通常オブジェクトをクリックで選択する。
 - ▶ 適用可能なメソッドは右クリックで一覧を表示できる。その中から実行したい操作を選択する。
 - ▶ よく使う(defaultの)操作はダブルクリックで直接選択実行が可能となっている。
 - ▶ テキストを選択して、コピーや削除をする場合も、オブジェクトがテキストであると考えればまったく同じ。

Windowの基本操作 -その2

マウスの右クリックを活用しよう！ (オブジェクト指向)

1. エクスプローラを利用したファイル操作
 - ① test.txtをコピーして、newtest.txtを作成
 - ② 新しいフォルダを作成し、testという名前に変更
 - ③ newtest.txtをフォルダtestへ移動
 - ④ フォルダtestを「コンピュータ演習」へrename
 - ⑤ test.txtを削除
 - ⑥ コンピュータ演習フォルダの中に「第1回」フォルダを作る
 - ⑦ その中にnewtest.txtを移動
2. エクスプローラを起動して
ドライブ、フォルダの木構造を調べる
3. 最後に「ゴミ箱」を空にする



Windowの基本操作 -その3

1. ドライブ
 1. Cドライブはシステム、変更不可。
 2. Zドライブは個人用、どこかのPCからでも利用可能、自宅からも読みとり可
 3. Mドライブは教材、Zドライブへのコピー可能
 4. Aドライブはフロッピー
 5. その他 CD、USB等から接続のドライブ

2. Ctl + Alt + Del で割り込み操作
 1. タスクマネージャーを見てみよう

3. パソコンの構成
 1. ハードウェア
 2. ソフトウェア
 3. OSとアプリケーション

